

警告

- 製品を取付ける際は、必ず取扱い説明書等に示している指示を守ってください。またその際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。ボルトまたはナット等が緩んだり、製品が破損すると、突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- 製品を取付ける際は、必ず取扱い説明書等に示している指示を守ってください。調整が正しくない場合、チェーン外れ等の発生により、突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- BR-6700にはST-6700/6703, BL-TT79をご使用ください。BR-6700を従来のロード用STLレバー及びフラットハンドル用ブレーキレバーBL-R770/R550と組合わせて使用しないでください。極端なブレーキの効き過ぎ等の恐れがあります。
- レバーの加工はカーボンの特性上厳禁です。レバーが折れてブレーキ操作ができなくなります。
- 乗車前にカーボンの剥離やクラック等のダメージがないか確認してください。ダメージがあれば修理しないで直ちに新しいものと交換してください。レバーが折れてブレーキ操作ができなくなります。
- 取扱い説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

使用上の注意

- トリプル仕様の場合はST-6703とFD-6703の取扱い説明書をあわせてお読みください。
- カーボンレバーはやわらかい布を使って必ず中性洗剤で洗ってください。素材にダメージを与えて強度が落ちる可能性があります。
- カーボンレバーを高温場所に放置したままにすることを避けてください。また火に近づけないでください。
- 変速に関係するすべてのレバー操作は、必ずフロントチェーンホイールを回しながら行ってください。
- 円滑な操作のため、指定ケーブル及びケーブルガイドをご使用ください。
- インナーケーブルとアウターケーブルの摺動部分が、グリス潤滑された状態で使用してください。
- インナーケーブル内蔵フレームは、ワイヤー効率が悪くSISが働きにくいいため、ご使用できません。
- 変速ケーブルには専用グリスを使用しています。DURA-ACEグリスや他のグリスを使用すると変速機能が低下します。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗及び品質の劣化は保証いたしません。
- 取扱い方法及びメンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。

ご使用方法 SI-6SC0A-002

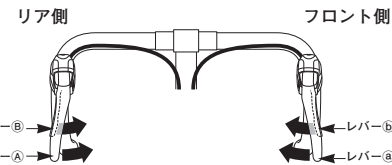
ST-6700

シマノ・トータル・インテグレーション

機能を十分に発揮させるために、次のラインナップによる使用を推奨いたします。

シリーズ	ULTEGRA
シフティングレバー	ST-6700
アウターケーブル	OT-SP41 (SIS-SP41)
スピード	20
フロントディレイラー	FD-6700
フロントチェーンホイール	FC-6700/6750
リアディレイラー	RD-6700-SS
フリーハブ	FH-6700
カセットプロケット	CS-6700
チェーン	CN-6700
ケーブルガイド	SM-SP17
ケーブルアジャスター	SM-CA70 / SM-CA50

操作変速方法



レバー(A)：リア小ギアから大ギアへの変速
 レバー(B)：リア大ギアから小ギアへの変速
 レバー(C)：フロント小ギアから大ギアへの変速
 レバー(D)：フロント大ギアから小ギアへの変速

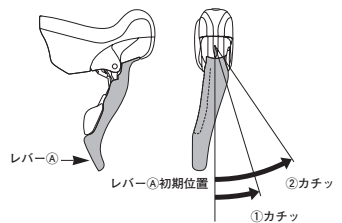
各レバーとも、操作後に指を離すと必ずレバー初期位置に戻ってきます。

* 取扱い説明書は下記にてご覧いただけます。
<http://techdocs.shimano.com>

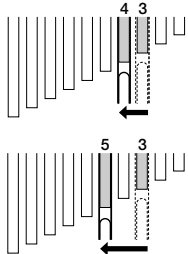
お客様相談窓口
 ☎ 0570-031961 Fax.072-243-7847
株式会社シマノ
 堺市東区松原3177番地 〒590-8577

リア側レバーの操作

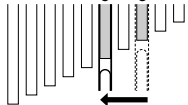
- レバー(A)……リア小ギアから大ギアへの変速
 レバー(A)には、①、②の2ヶ所にカッチというあたりがあります。



- ①：1段目だけ変速
 例：3段目から4段目へ



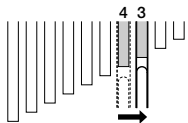
- ②：2段分一気変速
 例：3段目から5段目へ



- レバー(B)……リア大ギアから小ギアへの変速
 レバー(B)を1回押しはなすと、大ギアから小ギアへ1段変速します。



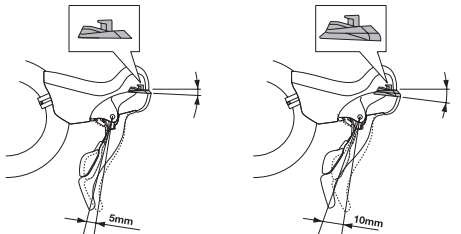
- 例：4段目から3段目へ



握り幅調整

握り幅を広げたい時は、パッドスペーサーを取外してください。握り幅を小さくしたいときは付属のパッドスペーサー(10mm)と交換してください。

パッドスペーサー 5mm (初期状態) パッドスペーサー 10mm



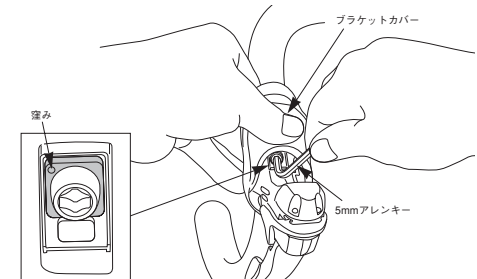
- パッドスペーサーの取付け、取外し



取付け

■ハンドルバーへの取付け

ブラケットカバーを前側から捲り5mmアレンキーで取付けナットを締め付けて固定します。



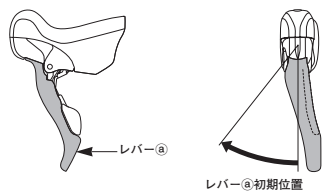
取付け間座Bは表の小さくばみが左上になるのが正しい向きです。

締め付けトルク：
 6・8 N・m [60・80 kgf・cm]

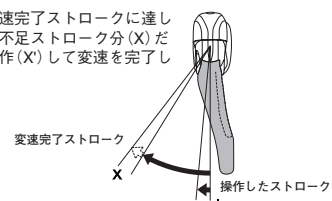
推奨締め付けトルクにおいても、カーボンハンドルの場合には、ハンドルへの損傷ならびに固定不十分となる可能性があります。適切なトルク値に関しては、完成車メーカーまたはハンドルメーカーでご確認ください。

フロント側レバーの操作 (FD-6700)

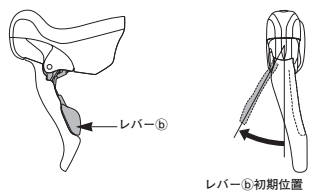
- レバー(C)……フロント小ギアから大ギアへの変速



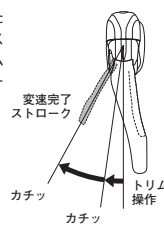
レバー(C)の操作が変速完了ストロークに達していなかった場合、不足ストローク分(X)だけ再度レバー(C)を操作(X)して変速を完了します。



- レバー(D)……フロント大ギアから小ギアへの変速

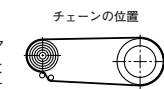


レバー(D)を操作すると、まずトリム操作あたりがカッチとあり、次のあたりが変速完了ストロークとなります。トリム操作後はトリム操作のあたりはなくなり、変速完了ストロークのあたりのみとなります。

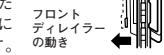


トリム操作 (音鳴り防止機構)

チェーンポジションがフロント大ギア、リア大ギアでフロントディレイラー内プレートとチェーンが接触し、音鳴りが発生した場合は、レバー(D)を軽く押す(カッチとあたりがある)とフロントディレイラーがわずかに小ギア方向へ移動し、音鳴りが解消されます。



チェーンポジションがフロント小ギア、リア小ギアでフロントディレイラー外プレートとチェーンが接触し、音鳴りが発生した場合は、レバー(C)を軽く押す(カッチとあたりがある)とフロントディレイラーがわずかに大ギア方向へ移動し、音鳴りが解消されます。



操作時の注意

レバー(A)操作時には、レバー(B)も共に動きますが、レバー(B)には押し力を加えないように注意してください。また、レバー(C)操作時には、レバー(A)を押さないように注意してください。両レバーに一度に力が加かると変速しません。

RD-6700、FD-6700の取扱い説明書もあわせてお読みください。

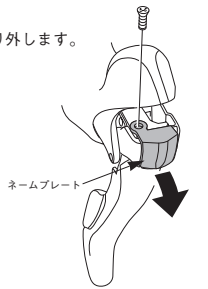
■ブレーキケーブルの取付け

使用ケーブル

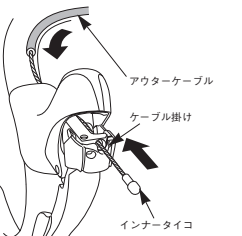
- ・インナーケーブル……………φ1.6mm (ステンレススチール)
- ・SLRアウターケーブル……………φ5mm SHIMANO SLR

ケーブルは、ハンドルを左右一杯切っても余裕のある長さで使用してください。

- 1. ネジを緩めてネームプレートを取り外します。



- 2. 図のようにインナーケーブルを通し、インナータイコをケーブル掛けにセットします。



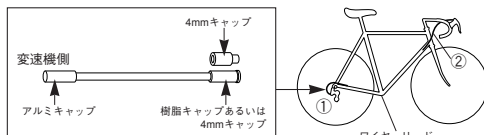
- 3. ネームプレートを取付けます。

締め付けトルク：
 0.15 - 0.2 N・m [1.5 - 2 kgf・cm]

■シフティングケーブルの取付け

使用ケーブル

- ・インナーケーブル……………φ1.2mm (PTFEインナーケーブル)
- ・SP41シールドアウターケーブル (①)……………φ4mm SHIMANO SP41 SEALED
- ・SP41アウターケーブル (②)……………φ4mm SHIMANO SP41



アウターケーブルの切断

アウターケーブルを切断する場合には刻印の反対側を切断してください。切断後の端面は、外側を真円に戻し、穴の内側を整えてください。

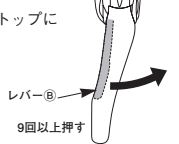


アウターケーブルキャップは、切断後も同一物を使用してください。



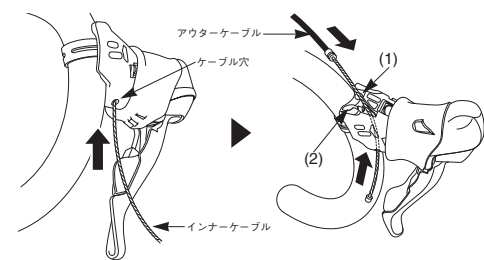
●リア側レバー

レバー(B)を9回以上押ししてレバー位置をトップにしてください。

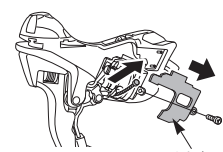


インナーケーブルをケーブル穴に通します。アウターケーブルは①(内側)②(外側)のケーブルガイドで2方向での取り回しが可能です。

ご注意：インナータイコが巻き取り体の奥まで入るようにしてください。

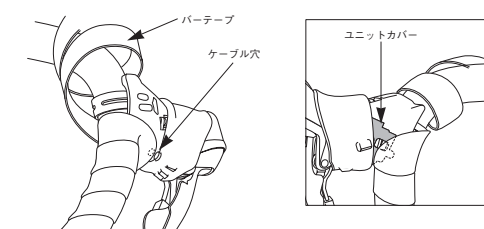


インナーケーブル交換時の取り外しの際、図のようにユニットカバーを外すと取り出しやすくなります。



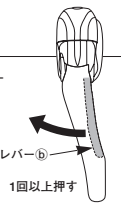
締め付けトルク：
 0.2 N・m [2 kgf・cm]

パーテブを巻く場合、ケーブル穴やユニットカバーに掛からないように注意してください。パーテブに掛かるとインナーケーブルの交換ができなくなります。



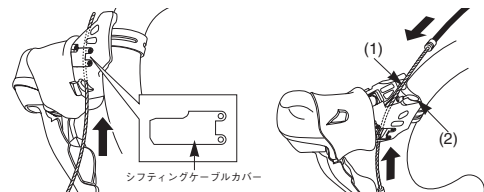
●フロント側レバー

レバー(D)を1回以上押ししてからレバー位置をローにしてください。



インナーケーブルをケーブル穴に通します。アウターケーブルは①(内側)②(外側)のケーブルガイドで2方向での取り回しが可能です。

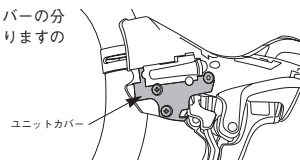
ご注意：インナータイコが巻き取り体の奥まで入るようにしてください。



▲注意

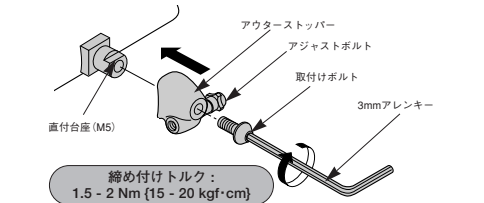
必ずシフティングケーブルカバーを取付けて使用してください。怪我の原因となる恐れがあります。

フロント側のユニットカバーの分解は動作不良の原因になりますので行わないでください。



●アウターストッパー

- 1. ダウンチューブにアウターストッパーを取付けます。

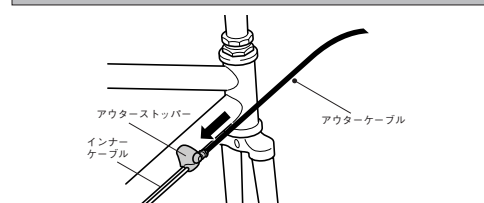


締め付けトルク：
 1.5 - 2 Nm [15 - 20 kgf・cm]

アジャストボルトを締め込んだ状態で取付けください。アジャストボルトの調整シロは6回転です。

- 2. インナーケーブルを通し、アウターケーブルをセットします。

アウターケーブルはハンドルを左右一杯切っても余裕のある長さのものを使用してください。



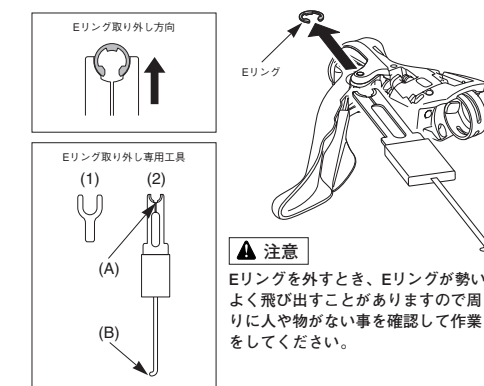
確認：アウターケーブルがアウターストッパーにきちんとセットされていること。

メンテナンス

※イラストは右レバーです。

■ブラケット体とレバー体の分解

- 1. 最初に、専用工具を使用してEリングを取り外します。専用工具(2)のB部分を使用してEリングを取り外しの向きに合わせます。次にA部をEリングにセットし、取り外します。



▲注意

Eリングを外すとき、Eリングが勢いよく飛び出すことがありますので周りに人や物がない事を確認して作業をしてください。

- 2. アレンキー等を使用してレバー軸の穴に差し込み、プラスチックハンマーで少しづつ叩きレバー軸を抜き出すと、ブラケット体とレバー体に分解できます。

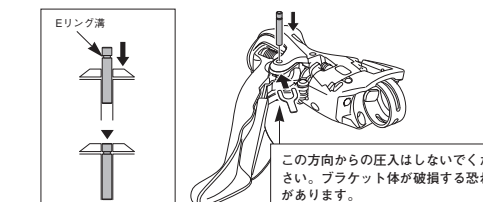


■ブラケット体とレバー体の組み立て

- 1. メインレバーサポートにコネクタレバー部を差し込んでからレバー本体とブラケット部を合わせます。次に、リターンスプリングの先端を切り欠き部に差し込みます。



- 2. 軸穴を一致させて専用工具(1)を図の位置にセットし、レバー軸を圧入します。



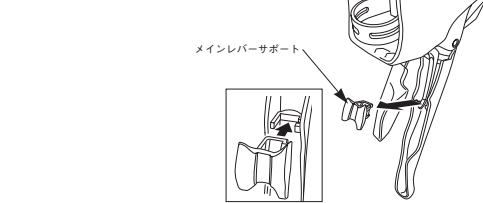
- レバー軸のEリング溝が上側になるのが正しい向きです。
- Eリングが溝に入るようにするため、ブラケット体の表面とレバー軸のトップ面がフラットになっていることを確認してください。

- 3. 専用工具(1)を取り外し、専用工具(2)でEリングをはめ込みます。



■メインレバーサポートの交換

取付け：レバー体の落ち止めの切り欠き部分に押し込むようにしてセットしてください。



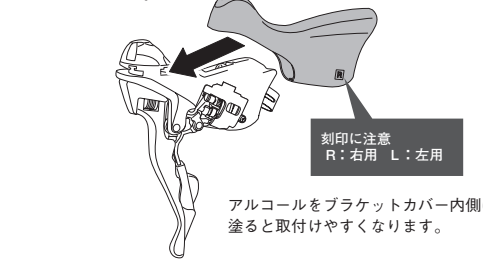
■ケーブルガイドの交換

この穴を利用してケーブルガイドを交換してください。



■ブラケットカバーの交換

ブラケットカバーの各凸部がそれぞれブラケット体の窪みに合うようになっています。



刻印に注意
 R：右用 L：左用

アルコールをブラケットカバー内側に塗ると取付けやすくなります。